

音楽学オープンセミナーシリーズ

フィレンツェのルネサンス音楽 オペラ誕生への足取り

ムジカ・リチェルカータ主宰

ミヒヤエル・シュトゥーヴェ氏 講演会

(阪大コレギウム・ムジクム第3回)

内容：

フィレンツェを本拠にし、国際的に活躍する古楽グループ“ムジカ・リチェルカータ”を約20年にわたって率いてきた音楽研究者・演奏家シュトゥーヴェ氏を招き、イタリア・ルネサンス音楽についての講演を行います。またこれは4月8日に京都で予定されているコンサートのプレ・ガイドともなっており、両企画への参加が望ましく思われます。

講演会は2部構成となりますが、後半の部ではフロアからの質問をもとに論議を作り上げるなど皆様からの積極的な参加を期待しています。

(通訳付)

4月7日 (木)

15時00分～18時00分 (開場14時30分)

会場：大阪大学豊中キャンパス
待兼山会館 2F 会議室

入場無料 (望予約)

主催：大阪大学大学院 文学研究科
音楽学研究室 06-6850-5124

講師 ミヒヤエル・シュトゥーヴェ

ゲスト 若山映子
(大阪大学大学院教授ーイタリア美術史)

司会・通訳 山田高誌
(日本学術振興会特別研究員ーイタリア・オペラ史)

予約方法：タイトルに「コレギウム参加希望」と明記し、本文に参加希望者全員の氏名を添えて、

ミハエル・シュトゥーヴェ Michael Stüve

ドイツ、ライン地方イダー・オーバーシュタイン生まれ。イギリス、オーストリア、アメリカ各国で音楽を学び、1974年から86年まで、ウィーン・フォルクス・オペラ、ウィーン国立歌劇場等においてヴァイオリン、ヴィオラを演奏。同時に、大学にて哲学、社会経済学を学び、1982年からは在ウィーン、ラクセンブルグ(オーストリア)の学術団体Study Group for International Analysis研究員、社会経済学の分野における研究を行う。

その後1987年よりフィレンツェに移住、1996年までフィレンツェ五月音楽祭において演奏活動を行うとともに、1989年、文化芸術振興発展のために文化協会「ムジカ・リチェルカータ」を設立。同団体とともに現在までに数次にわたって学術会議を主催し、2004年にはイタリアの最大手学術出版社オルシユキから論文集《音楽と、音響の危機Musica e crisi sonora》の出版を行う。

ムジカ・リチェルカータ Musica Ricercata

1989年にミハエル・シュトゥーヴェによって創設されたこのグループは、1998年に音楽芸術と文化の普及を目的に掲げた非営利組織となる。特にフィレンツェの音楽遺産をもとに演奏活動や研究活動を繰り広げており、珍しいプログラム構成、テーマの特異性もさることながら、古代ギリシャ音楽から現代音楽まで西洋音楽史の流れに沿った再現で高い評価を得ている。主宰、音楽監督を務めるシュトゥーヴェのもと、ライブツィヒ・パッサ祭(2001)、

ウィーン・シェーンブルン祭(2002)、桐生室内楽音楽祭(2003)、モスクワ・トスカナ週間(2003)等音楽祭への出演のほか、放送局での録音、国際会議、講演会、セミナー・コンサート等への参加、主催を多数行っている。

会場：阪大豊中キャンパス待兼山会館 2F 会議室



キャンパスへのアクセス：

- ◇ 阪急宝塚線「石橋」駅より、徒歩15分
- ◇ 大阪モノレール「柴原」駅より、徒歩10分

関連演奏会のご案内

アンサンブル・ムジカ・リチェルカータ

フィレンツェ文化の誕生 13世紀から17世紀までのフィレンツェの音楽

日時 ■ 4月8日(金) 19時00分開演(午後18時30分開場)

会場 ■ 京都府立府民ホール アルティ

入場料 ■ 前売り: ¥ 2,500 当日: ¥ 3,000

シルバー(65歳以上)/学生: ¥ 2,000

曲目 ■

- ・ギョーム・デュファイ『陽光に身を包む麗しの乙女よ』(詩:フランチェスコ・ペトラルカ)
- ・フランチェスコ・デ・ライヨッレ『愛よきたれ』(詩:ジョヴァンニ・ボッカチオ)
- ・ベルナルド・ピサーノ『かように我が心も』(詩:ダンテ・アリギエーリ)
- ・フランチェスコ・ランディーニ『目に涙の海をたたえて』
- ・ハインリヒ・イザーク『戦い』
- ・ヤコボ・ペーリ『私は泣かない』(オペラ《エウリディーチェ》より、オルフェオの嘆き) 他

出演 ■

アンサンブル・ムジカ・リチェルカータ(主宰:ミハエル・シュトゥーヴェ)

- カウンター・テナー : アレッサンドロ・カルミニャーノ
- ヴィエラ : ミハエル・シュトゥーヴェ
- リコーダー : 山岡重治
- ヴィオラ・ダ・ガンバ : 平尾雅子
- トロンボーン : セルジョ・ヴェルネッティ

主催 ■ イタリア文化会館-京都 075-253-6565

連絡先 ■ エラート音楽事務所 075-751-0617

ミュージカ・リチェルカータ主宰

ミヒャエル・シュトゥーヴェ氏講演会

フィレンツェのルネサンス音楽

～ オペラ誕生への足取り

第1部 (15:00-16:30)

1. ごあいさつ、ならびに講師紹介
2. 若山映子「北イタリアの絵画における楽器像—フィレンツェ絵画の特徴」(仮題)
3. ミヒャエル・シュトゥーヴェ
「フィレンツェの音楽と、ルネサンス期の“フィレンツェ楽派”」
 - * フィレンツェ音楽の、10の段階 (11世紀から20世紀まで)
 - * 14世紀のマドリガーレ
 - * 16世紀のマドリガーレからオペラの創始へ

— ミニ・バンケット —

第2部 (17:00-18:00)

1. 楽器紹介 ヴィエツラ、各種管楽器 (シュトゥーヴェ、若山、山田)
2. ラウンド・テーブル
【基本となるテーマ】
 - ・記譜された音を復活させるということ—理論と実践のあいだで
 - ・音楽学の役割

他 フロア参加によるフリーセッション

コンサートのお知らせ

アンサンブル・ミュージカ・リチェルカータ

— フィレンツェ文化の誕生：13世紀から17世紀までのフィレンツェの音楽 —

出演：M.シュトゥーヴェ(ヴィエツラ)、A.カルミニャーノ(カウンター・テノール)、山岡重治 (リコーダー)、
平尾雅子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、S.ヴェルネッティ(トロンボーン)

日時：4月8日(金) 19時開演 (17時30分開場)

場所：京都府立府民ホール アルティ (今出川駅下車、6番出口より徒歩5分)

チケット代：2000円 (講演会参加者特別料金)；当日一般3000円